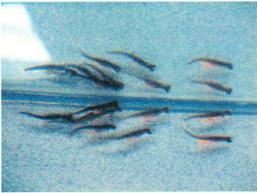




恵まれた教育環境を生かす

校長 梶谷 雅弘



1月4日(火)理科室の水温8度という水槽の中で、元気いっぱい泳ぎ回る鮭の稚魚を見ることが出来ました。暮れに見たときは、大きなお腹の袋の栄養を吸収するため水槽の底に苦しそうに静かに横たわっていたあの稚魚が、順調に育っていたのです。

この稚魚を見たとき、南田中小学校 309名の児童一人一人の限りない成長を託されている我々教職員に課せられた職責の重さを再認識しました。

地域の皆様や保護者の皆様にご迷惑をおかけしましたが、3年以上にわたる大規模工事を昨年10月末に無事に終えることが出来ました。一昨年2月には、区立南田中図書館との合築による新体育館が完成し、昨年6月には、旧体育館跡地にプールが完成し、温水シャワーが完備した区内一新しい施設で水泳指導を行うことが出来ました。そして、11月には、校庭改修工事も完了し運動会を挙げる事が出来ました。

この恵まれた教育環境を生かし、児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるとともに、豊かな心を育て、健やかな体をつくることを目指して日々の教育活動を進めて参ります。

特に、地の利を生かした区立南田中図書館と連携した教育活動を進めることは、本校の特色ある教育活動の柱となるものです。

校内研究では、研究主題を『読むこと』を大切に、自分の考えを表現できる子の育成～区立南田中図書館と連携した教育活動の推進～と設定し、研究に取り組んでいます。

これらの教育を進める上で、必要不可欠となるのが、心の教育の充実です。

新しい小学校学習指導要領では、小学校で重点的に指導する内容として次のように示されています。大人にとっても、参考になることばかりですので一部を紹介いたします。

★ 1年から6年まで共通して重視すること

自立心(自分のことは自分でできる)や自律性(自分の意志で行動できる)、自他の生命を尊重する心を育てる。

★ 1・2年生で重視すること

あいさつなど基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことはしないよう指導する。

★ 3・4年生で重視すること

集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合う態度を身に付けるようにする。

★ 5・6年生で重視すること

法やきまりの意義を理解すること、相手の立場を理解し支え合う態度を身に付けること、集団における役割と責任を果たすようにすること、国家・社会の一員としての自覚を持つことができるよう指導する。

これらは、今の子供たちの生活や人間関係の中で、また将来社会人として生きていくために必要な事柄です。私たち教職員自身が襟を正し、子供のよきモデルになるようにしたいと思います。

振り込めさぎや商品の偽装、その他不正やごまかしなど、1・2年生の「人間としてしてはならないことはしない」は、子供たちに要求する前に大人が模範を示すことだと思っております。

道徳の時間だけでなく、生活指導や各教科の授業、休み時間や係り活動など学校生活全体の中で、きちんと指導し、合わせて規範意識もしっかりと身に付けさせるようにしていきます。

心の教育の充実と特色ある教育活動や日々の教育活動の推進は、車の両輪といえます。どちらが欠けてもスムーズに前進させることは出来ません。学校と家庭との連携が大きな鍵を握っています。ご家庭におかれましても、紹介したようなことについて関心をお持ちいただき、機会を捉えて、話題にしていただければ子供たちにとってとても幸せなことだと思います。

児童一人一人のよりよい成長を願い全教職員心を一つにして指導に当たってまいります。本年も、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。